

15周年を迎へて

愛媛県神道青年会会長

矢野哲夫



会員各位におかれましては、御健勝にて社務に、また、御社頭の興隆にと、御奉仕に御精励の事と拝します。その間に神青の各種事業に御協力いただきこの紙面を借りましてお礼申し上げます。

私が、会長をおおせつかりましてから、早くも一年が過ぎてしまいま



奉祝 天皇陛下御即位六十年



第18号
昭和61年7月1日
発行
● 790 松山市道後
桜谷町173
愛媛県社庁内
愛媛県神道青年会
☎ 0899-21-7875

した。その間に、天皇陛下御在位六十年をお祝いたします各種行事が多々行われてまいりました。神青協においてもこの御慶事に奉祝の誠を捧げるため、ジャストジャパンとめいうって、福岡での中央研修会をおわきりに、四月の陛下の御誕生日に東京放送をキーステーションにしてクイズ番組を放映いたしました。残念ながら愛媛県には見ることが出来ませんでした。また、第三の行事も企画・検討しています。

こうした、御慶事の年に私達の愛媛県神道青年会は、再発足してから早くも十五年を迎えました。今は亡き和田会長・十亀会長・長曾我部会長清家会長と神青の発展に努められし来た賜物です。私達もこの、神青の灯を消すことなく発展させて行かねばならないと思います。丁度今年、四国四県神青・氏青合同研修会の当番県に当たっております関係上、十五周年記念事業と研修会を一緒に開催したいと思ひ計画しております。つきましては、会員の皆様全員参加のもと、友情と団結を培い我神青の発展のステップとなればと考えております。是非にも参加下さい。

また、この時、全県下の神職の方

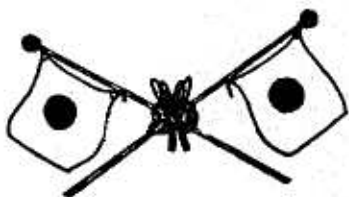
々をお招き致しまして講演会を開催し、現在までにお世話になりました感謝の気持ちを表したいと思っております。

各神社の宮司様方には、日頃から神青の活動に対しあたたかい御支援・御協力にたいしまして心よりお礼申し上げます。今後も、何かと御迷惑をおかけすると思ひますが、あたたかいお心を持ちまして御協力お願い致します。

(一宮神社宮司)

祝祭日には

国旗をかがけましょう



天皇陛下御在位六十年奉祝記念 神青協中央研修会並び研修旅行報告

勝 本 房 利

去る二月二十六、七日の両日、天皇陛下御在位六十年奉祝記念中央研修会が、九州博多の地で開催された。愛媛県神道青年会よりは矢野会長はじめ総勢十三名が参加いたしました。以後はその研修報告とさせていただきます。



私たち一行は全国大会開催前日の二十五日午後八時に、三津の厳島神社に集合、車四台に便乗しフェリーにて小倉に渡る。翌朝まだ陽もあけきらぬうちから大会会場である、ホテルニューオータニ博多を目指し車を走らせる。途中宗像大社・宮地嶽神社・香椎宮等を参拝、それぞれ荘厳なる社、きれいに掃き清められた境内地に身も心も清められる思いで目的地へと到着する。休む間もなく受付をすませ研修会場へとなだれ込んだ。今回行われたこの研修会の趣旨は神青会員を対象に講演・映画等を中心とした従来のもものに天皇陛下御在位六十年というこの上なきご慶事をお祝い申し上げる奉祝行事を併せた二部構成であり、その奉祝行事の一端として一般の人々を含めてのコンサートをも主催する。

先ず研修日程のはじめに、神青協による開会式が執り行われ、地元神社界の御来賓より御祝辞を頂き大会が盛会のうちに進行した。続いて「JUST・JAPAN60 児童組コンサート」の宇崎竜童・林英哲両氏を壇上に迎えて「祭とイイベント音楽」と題して一時間余り、祭に心を馳せて熱つばい対談がおこなわれた。その中で祭りの持つ素朴なリズム、特に太鼓の音は大和民族の魂に呼応する打楽器で、これほど私たち日本人に馴染んでいるものはない、その証拠に神社で太鼓の音が聞こえ出すと我々は胸騒ぎがするではないか、その音を基本とし児童組は今日日本音楽を創造している。と云っていたのに感動した。

引き続き組織工学研究所所長である、糸川英夫講師が「日本はこうなる」という演題で一時間半にわたって講演された。高齢化による年層の諸問題、自己の啓発の必要性などの問題点をあげ、きびしい中にもユーモラスなジョークを含み、意外性のある話ぶりは講習生を魅了した。講演終了後、会場のホテルと道路をはさんで向かいに建つ電気ホールにおいて児童組による「和太鼓とロック」のコンサートが盛大に催された。コンサート前に反対派からの運動も



ある様に伝えられ、私服警官の警備つきという物騒な面もあったが、コンサートは何事もなく無事進んだ。時間にして二時間たらずではあったが、和太鼓の音と軽快なロックに我をわすれるすばらしい一時であった。まだ耳に余韻が残るまま、ホテルへと場所をかえ親睦を深めんがための懇親会となる・・・

明けて研修二日目は、「天皇陛下

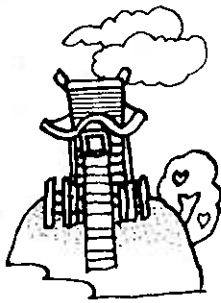
御在位六十年をことほぐ「伊勢の
 遷宮―御神木篇・第六十一回神宮式
 年遷宮記録映画」の二本の映画鑑賞
 があり、後にレポートを提出し研修
 会全日程をおえる。解散後、本県よ
 り参加の神青会員による研修旅行と
 なる。まず、太宰府天満宮を参拝し
 一路熊本へむけハイウェイをとばし
 熊本市へ到着。まず熊本城内に鎮座
 する加藤神社にて正式参拝、その後
 熊本町の、加藤神社官司湯田栄弘
 氏にご案内頂き、からし蓮根に馬刺
 しと焼酎を酌み交わし、楽しい一夜
 を過ごす。明けて二十八日一行は水
 前寺公園内に鎮座する出水神社、ま
 た阿蘇山麓に鎮座する阿蘇神社とを
 参拝し、大分に向けやまなみハイウ
 ェイをひた走る。温暖な九州ではあ
 るが、やまなみハイウェイはかなり
 の残雪があり、慣れた人、不慣れた
 人を含めた一行はいくつかのトラブ
 ルをのりこえ、無事別府の地へ到着。
 これより、八幡浜と松山との便に分
 かれ解散帰路につく。

今回、はじめてこの全国研修会に
 参加させて頂き、神社界に身をおく
 同じ若い神職の活動的な姿を見て身
 を引き締められる思いをいたしました。
 また、同行させて頂きました諸

先輩の御指導のもと無事全日程を遂
 めることが出来ましたこと、紙面を
 お借りして御礼を申し上げます、あ
 りがとうございました。

研修会参加者芳名(敬称略)

- 矢野 哲夫 (一宮神社)
 - 本多 洋 (和霊神社)
 - 柳原 幸 (厳島神社)
 - 清家 貞宏 (八幡神社)
 - 重松 正寛 (伊豫豆比古命神社)
 - 越智 重安 (三島神社)
 - 佐藤 照彦 (三島神社)
 - 湊 照彦 (石鎚神社)
 - 田内 逸和 (阿沼美神社)
 - 池内 公和 (加茂神社)
 - 田窪 久 (吹揚神社)
 - 御田村 俊一 (伊豫豆比古命神社)
 - 勝本 房利 (石鎚神社)
- (石鎚神社権御宜)



昭和六十年年度会費納入者一覧

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 堀 司 | 都子野 清彦 | 馬越 将文 | 高橋 佳幹 |
| 吉田 充邦 | 本多 洋 | 藤原 寿久 | 森 康正 |
| 矢野 哲夫 | 大西 元宣 | 平田 彰 | 池田 誠規 |
| 清家 貞宏 | 田窪 久 | 川崎 正典 | 柳原 誠幸 |
| 御田村 俊一 | 湊 照彦 | 池田 静治 | 松浦 徳芳 |
| 重松 正寛 | 曾我部 英司 | 別府 一司 | 越智 重安 |
| 井上 忠史 | 片岡 巧好 | 高市 俊次 | 鴨頭 重安 |
| 相原 宗正 | 勝本 房利 | 武智 彰宏 | 井上 正博 |
| 田内 逸和 | 山中 将史 | 芥川 亮 | |
- (38名)

- ※ 会合にはできる限り出席しましょう！
- ※ 返信ハガキは必ず投函しましょう！
- ※ 時間は厳守(遅れる場合は連絡を)しましょう！
- ※ 会費は完納しましょう！

お願い!!

青年神職年会費は四〇〇〇円になっ
 ておりますので、未納の方は至急ご
 納付願います。会費は会運営の基本
 となるものですのでよろしくご協力
 の程お願い申し上げます。



サイパン・トラック諸島
戦没者慰霊祭に参加して

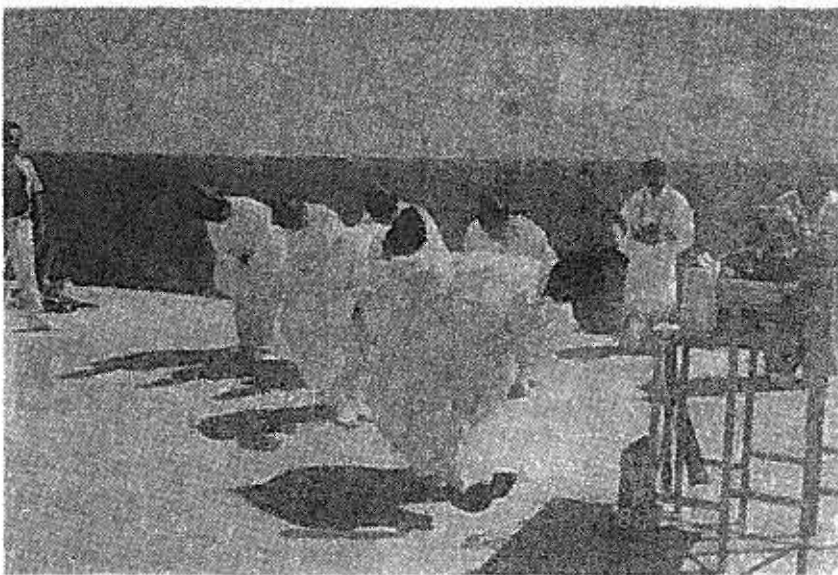
矢野 哲夫

四国地区神青の合同事業である、南太平洋方面戦没者慰霊祭が、今年、島根県神青との合同で執り行われ、愛媛県から私と長曾我部先輩の二人が参加しました。外国へ行くことは、私にとって二回目ですが、慰霊祭と言う事もあって出発前からなんとなくいい気持ちでした。出発当日予定の時刻に大阪空港に集合し、成田へ、そこからいよいよサイパンへ向かって出発しました。成田から三時間で着きます。真暗な空の中を飛んでいるとは思われませんでした。

サイパンには、夜中に着きそのままホテルへ、無事の到着を祝又、これからの折り返しをしながらまずはとグラスをかたむけた次第です。朝、なんと青いことか、空の青さ。海の青さなんと明るいつつ、南の島サイパンへ来ているのが実感として伝わってきました。

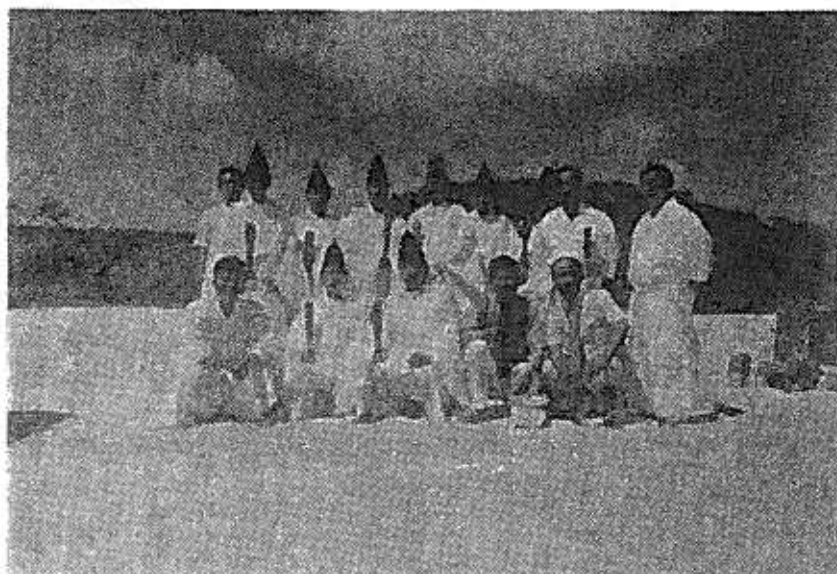
サイパン（バンザイ岬）での慰霊祭、ここは一般民間人がこの岬の絶壁より身を投じた所。傷つきし者、若き乙女、子供を抱き赤児を背負いし婦人等等、此処から眺めし海の向

うは日本と聞いた。身を投げし人達の心ははかり知れないが、情景を思うに目頭が熱くなってきた。各種兵器の残骸・洞窟・彩帆神社と書かれた石柱（ここには、神社が再建されていた）に当時を偲ぶ。サイパンを



サイパン（バンザイ岬）

あとにトラック諸島(モエン島旧春島)へ、夕方着きホテルへ、ヤシ林の向うに海あり、水平線の向うに沈む夕日、なんとロマンチックな情景だろう。此処に戦争という出来事があつたとは、今はとても考えるこ



とが出来ない。此処での慰霊祭アメリカABC放送の取材を受ける。ただ、此処で困ったことは、禁酒の国であるということ。ホテルでも、レストランでも、アルコール類は一切おいていません。我々左党にとっては甚だ不便な所でした。トラックをあとにグアムへ、ここではフリータイム、ホテルのプールで甲羅ぼしをする者、免税店でお土産を買う者、見物にでかける者、のんびりとした時を過ごした後、グアム空港よりいちろ日本へ。

今回の慰霊祭に参加して自分自身考えさせられることが多々ありました。四十数年前日本のことを思い尊い命を散らしていった英霊達。また一般の老若男女の人達、そして今尚ジャングルに眠る多くの遺骨・遺品。日本において今の自由を享受して生活している私達は彼等のことは忘れてしまっている。彼等の尊い命の上に

今日の繁栄があり、我々の生活があることを忘れてはならないと思ひます。

南の海・島に眠れる人々の御霊に深く感謝し静かに眠り下さいと祈る次第です。(一宮神社宮司)

暑中お見舞

申し上げます

- 会長 長 矢野 哲夫
- 副会長 本多 洋
- 全柳原 幸
- 事務局長 池内 公和
- 理事 湊 照彦
- 全田 裕久
- 全浅海 宜美
- 全重松 正寛
- 全井上 忠史
- 全佐藤 豊
- 全三輪 貞貞
- 全清家 貞宏
- 全越智 重安
- 全吉田 充邦
- 全田内 逸和
- 全都子野 清彦
- 全十亀 興美
- 全顧問 長曾我部 延昭

研修ご案内

第13回四国地区神青

氏青合同研修会

主催 四国ブロック神道青年会・氏子青年会

当番 愛媛県神道青年会

期日 8月23日(土)・24日(日)

集合 8月23日(土)受付1時

開会式2時

会場 道後プリンスホテル

主題 「天皇と日本人」

講師 神宮皇学館大学学長

田中 卓先生

愛媛大学助教授

百地 章先生

講演 一般神職聴講歓迎

持参品 筆記用具・洗面具等

参加費 一名一五、〇〇〇円

(宿泊、食事、親睦会、ソフトボール各費含む)

申込締切 8月10日(日)厳守

申込先 越智郡菊間町浜一九八九

愛媛県神道青年会事務局

池内公和宛

☎〇八九八 三三三二

四国地区神道行法

練成会

主催 香川県地方研修所

神青協四国ブロック

当番 香川県神道青年会

期日 8月26日(火)・27日(水)

集合 8月26日(火)受付1時

場所 香川県三豊郡財田町上

鉢八幡神社(宮崎宮司)

☎(〇八七五六七)二〇二八

講師 大野原八幡神社宮司

拓植宗尚先生

品福寺住職

香川徹男先生

持参品 袂用具一式

参加費 一名一〇、〇〇〇円

申込 七月末日迄

申込先 高松市宮脇町一―三〇三

香川県神社庁内

香川県神道青年会

☎〇八七八 二七七五

昭和60年度活動報告

60・4・18

神青協第57回定例

総会(神社本庁)

第14回総会

(椿会館)

四国四県連絡会

(高知県神社庁)

役員会(神社庁)

護国神社玉串裁判

選官委員会

(本社本庁)

四国地区神青海外

慰霊祭

(サイパン)

県内神職大会

海外慰霊祭反省会

(高知市)

若竹16号発刊

選官委員会

(小郡市)

護国神社玉串裁判

役員会

(護国神社)

北方領土返還要求

愛媛県大会

(松山市)

8・21~22

第12回四国地区神

青氏青合同研修会

(高知市)

選官委員会

(本社本庁)

第10回四国地区神

道行法練成会

(日和佐町)

第3回観月神楽の

夕べ(一宮神社)

役員会(本社庁)

初詣ボスター発行

役員会(道後)

新年互礼会

(川吉別荘)

護国神社玉串裁判

若竹17号発刊

選官委員会

(博多)

神青協中央研修会

研修旅行

(福岡・熊本)

役員会・監査会

(護国神社)

6・3~7

5・29

5・29

5・23

5・2

4・21

7・15

7・22

7・31

8・3

8

6・16

6・26

6・15

6・29

6・29

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

6・16

昭和60年度 歳入歳出決算書

歳入合計 金 1,748,350円
 歳出合計 金 1,534,322円
 差引残高 金 214,028円 61年度へ繰り越し

歳入の部

項 目	本年度決算	本年度予算	比 較		付 記
			比 増	較 減	
1 会費収入	290,000	300,000		10,000	会費4,000・38名 新年会会費5,000・36名
2 助成金	250,000	250,000			神社庁助成金15万 時局対策費 10万
3 寄付金	613,000	650,000		37,000	この明細書は会報17号の裏に 提出しています。
4 雑収入	215,190	6,560	208,630		小雑誌<神と祭><発生期の神道> 211,400円研修旅行余剰金3,790円
5 繰越金	180,160	123,440	56,720		59年度より繰り越し
6 積立金繰入	200,000		200,000		現金不足の爲普通貯金200,000円繰り 入れ兼この金額は共に不足金を補う爲 に今迄の積み立て金を繰り入れた金額 です。
合 計	1,748,350	1,330,000	418,350		

歳出の部

項 目	本年度決算	本年度予算	比 較		付 記
			比 増	較 減	
1 会議費	293,262	300,000		6,738	總會、新年会、役員会、忘年会、 その他これに関する連絡代金
2 研修教化費	193,070	200,000		6,930	中央研修、四国ブロック大会、 四国ブロック例会
3 事業費	295,860	150,000	145,860		初詣でポスター、観月神楽のタペ、 合同慰霊祭<サイパン島>
4 広報費	192,490	100,000	92,490		前年度分15号、16号、17号 印刷、送料
5 事務費	41,940	100,000		58,060	コピー、事務用品、その他
6 備品費	2,700	10,000		8,300	はさみ、その他
7 旅費	278,000	300,000		22,000	神青協役員会、サイパン補助、 中央研修会 外
8 慶弔費	17,000	20,000		3,000	前会長記念品<立烏帽子>
9 負担金	127,000	130,000		3,000	四国ブロック50,000円四国ブロック研 修会 50,000円 全神協繰出金27,000円
10 雑支出	93,000	5,000	88,000		<発生期の神道>本代
11 繰越金	214,028	180,160	33,868		現在の現金残高
12 予備費	0	15,000		15,000	
合 計	1,748,350	1,330,000			

別途積立金 160,103円

監査報告 上記の各項、監査の結果相違なき事を認めます。

昭和61年3月18日監査

田内 逸和 (印)

都子野 清彦 (印)

昭和61年度 予 算 書

歳入部

項 目	本年度予算	前年度予算	比 較		付 記
			増	減	
1 会費収入	300,000	300,000			
2 助成金	450,000	250,000	200,000		神社庁助成金 35万 時局対策費 10万
3 寄付金	700,000	650,000	50,000		
4 雑収入	5,972	6,560			
5 繰越金	214,028	123,440	90,588		
合 計	1,670,000	1,330,000			

歳出の部

項 目	本年度予算	前年度予算	比 較		付 記
			増	減	
1 会議費	300,000	200,000			
2 研修教化費	200,000	200,000			中央、四国ブロック、視研 修会
3 事業費	400,000	150,000	250,000		神青発足15周年記念事業(含)
4 広報費	200,000	100,000	100,000		18,19号
5 事務費	80,000	100,000		20,000	
6 備品費	10,000	10,000			
7 旅 費	300,000	300,000			神青協役員会、トラック島 中央研修外
8 慶弔費	20,000	20,000			
9 負担金	140,000	130,000	10,000		四国ブロック 50,000 四国ブロック研修会 26,000
10 雑支出	5,000	5,000			
11 予備費	15,000	15,000			
合 計	1,670,000	1,330,000	340,000		

歳入合計 1,670,000円

歳出合計 1,670,000円

昭和61年4月5日

愛媛県神道青年会会長 矢野哲夫



神楽と雅楽の夕べ

和霊神社

七月十二日(土) 午後七時

御案内

来る七月十二日(土)午後七時より和霊神社にて、第四回神楽と雅楽の夕べを開催致します。

本来神楽は祭典の中で奉納される舞ですが、神社音楽、芸能を通じ広く親しみを持って人々に理解していただき、神社の別な一面を感じていただければと思ひ企画致しました。多数の方の御来場をお待ち申し上げます。

プログラム

1. 開式太鼓
2. 神楽式三番之舞
3. 雅楽越天楽
4. 神楽神清浄之舞
5. 舞楽悠久舞
6. 神楽古今老神之舞
7. 舞楽弓司舞
8. 神楽飛出手力男之舞
9. 雅楽五常楽
10. 神楽悪魔払
11. 神楽大蛇之舞
12. 舞楽浦安舞
13. 神楽火焼之舞
14. 閉式太鼓

昭和年61度活動計画

- 一、中央研修会への参加（関東）
- 一、四国ブロック合同研修会への参加・促進（今年度は当県が当番県になります。8月23・24日・道後プリンスホテル）
- 一、四国ブロック疎練成会への参加・促進（8月26・27日・香川）
- 一、四国ブロック合同慰霊祭奉仕（トラック島）
- 一、各ブロックの自主的活動の推進
- 一、式年選宮啓蒙運動
- 一、新年互礼会の開催（中予）
- 一、会員の増強
- 一、親月神楽の夕への開催（7月12日・和霊神社）
- 一、氏子青年会結成への努力
- 一、神宵研修会の開催
- 一、助動用狩衣の斡旋
- 一、再発足15周年記念神社拝礼看板の作製、配布
- 一、年末初詣テレビスポットの放映
- 一、その他役員会で決定する事業

事業委員会（中予）

- ・初詣ポスターの配布
 - ・初詣テレビスポットの放映
 - ・再発足15周年記念事業
 - ・委員会で決定する活動
- ## 教化委員会（東予）
- ・研修旅行の実施
 - ・各種研修会の開催
 - ・委員会で決定する活動
- ## 広報委員会（南予）
- ・会報「若竹」年2回発刊
 - ・委員会で決定する活動

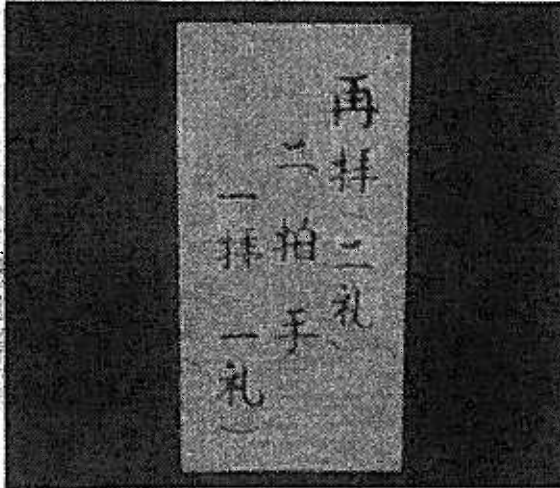


15周年記念事業

再発足15周年

記念事業品として

左の拝礼作法板を作製の上、各本務官司宛ご発送致しますので、何分のご協力ご協賛をお願い申し上げます。



15周年記念拝礼板

編集後記

衆衆参同日選挙も低調ムードのまま終了。自民党の大勝利(?) 公約通りの政治が行われるかがこれからの見ものです。 寮親月神楽の夕へも四回目を数え、雅楽愛好者も年々増えて、県内神社より私の所で開催して欲しいと数々の申込みがあり、対応におおわらわとの事、嬉しい悲鳴をあげております。 ※パンダに続きコアラも二世誕生ノ順調に育って欲しいものです。 我が神宵も再発足十五年を迎へ、次なる飛躍が期待されています。 (清家)

